

熊本水遺産めぐり

熊本水遺産とは、熊本市の水の風土と文化を後世に伝えるため、市民共有の財産として市が登録しているものです。

湧水、食、土木建築、祭り、風習など有形・無形を問わず、熊本市の水に関係するものであれば登録の対象としています。

市民から候補を募集し、熊本水遺産委員会の審議を経て、現在92件が登録されています。

平成28年3月現在

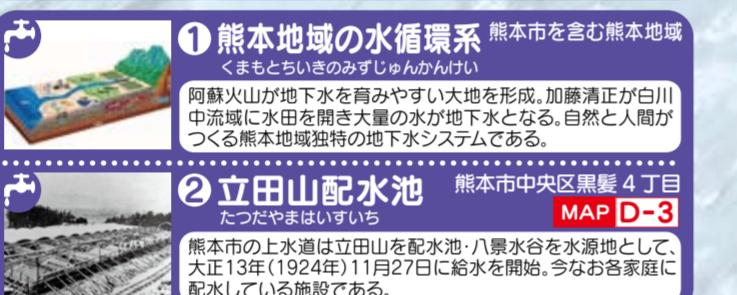
【注意】

○観光地ではないところがほとんどですので、案内標識や看板はありません。
○車で行く場合は、最寄の有料駐車場など迷惑のかからない場所に停めて、徒歩で散策してください。
○熊本水遺産の多くは、地域の方々の努力で維持されています。マナーを守り感謝の気持ちをもって、水遺産めぐりを楽しんでください。
○湧水等の見学の際には、事故等に気をつけください。
○湧水等の「飲用」を認めるものではありません。

熊本水遺産の種別



名水百選「平成の名水百選」に選定された場所



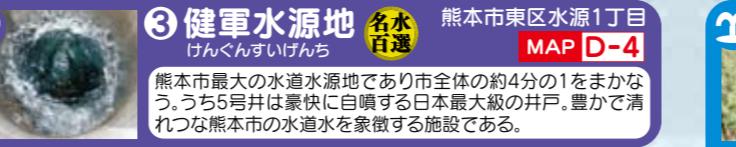
① 熊本地域の水循環系 熊本市を含む熊本地域

阿蘇山が地下水を貯めやすい大地形で、加藤清正が白川中流域に水田を開き、量の水が地下になると、自然と人間がつくつる熊本地域特有の地下水システムである。



② 立田山配水池 熊本中央区黒髪4丁目

熊本の上の水道は立田山を配水池・八景谷を水源地として、大正13年(1924年)11月27日に給水を開始。今は各家庭に配水している施設である。



③ 健軍水源地 名水百選

熊本市東区水源1丁目 MAP D-4
熊本市最大の水道水源地であり市全体の約4分の1をまかなう。うち5号井は豪傑に自負する日本最大級の井戸。豊かで清潔な熊本市の水道水を象徴する施設である。



④ 御手洗さん

熊本市北区植木町清水 MAP C-1
洗いの場でもある湧水。神功皇后が4世紀、朝鮮半島への遠征中に立ち寄られ、手を洗ったことが名前の由来。神社境内には三十六の眼鏡橋が修設されている。



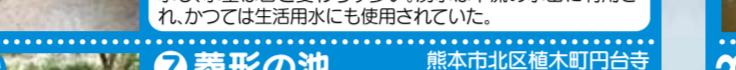
⑤ 内の北井川

熊本市北区植木町内 MAP C-1
豊源地筋にひっそりと併む湧水。岩壁に放生の石仏(74体目)が祀られている。水が豊富に湧き、涼しい木陰もあり、かつては旅人の憩いの場であった。



⑥ 神の元水源

熊本市北区植木町那知 MAP B-2
JR田原坂駅の近く、那知山のふもとにある。山裾の岩場から湧出し、水量は昔と変わらず多い。湧水は下流の水田に利用され、かつては生活用水にも使用されていた。



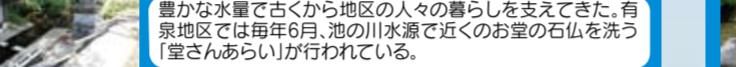
⑦ 菱形の池

熊本市北区植木町田代寺 MAP B-2
菱形の形をした小さな池である。欽明天皇の時代、八幡神がこの池に出現し、自らが神天天皇の生まれ変わりであることを告げたという伝説がある。



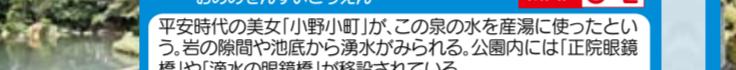
⑧ 池の川水源

熊本市北区植木町有泉 MAP C-2
豊かな水量で古くから地区の人々の暮らしを支えてきた。有名な場所では毎年6月、池の川水源を近くのお堂の石仏を洗う「盆さんあらい」が行われている。



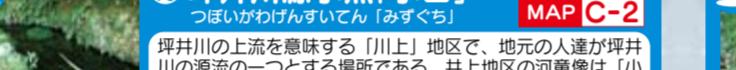
⑨ 小野の温泉公園

熊本市北区植木町小野 MAP C-2
平安時代の美女「小野の小野」が、この泉の水を産湯に使ったといふ。岩の隙間に水底から湧水がみられる。公園内には「正院眼鏡橋」「やまの湯の眼鏡橋」が移築されている。



⑩ 坪井川湧水点「水口」

熊本市北区改善町 MAP C-2
坪井川の水流を意味する「川上」地区で、元の入道が坪井川の源流の一つとする場所である。井上地区的河童像が「小清水の池」からここに移されたといい。



⑪ 小清水の池

熊本市北区改善町 MAP C-2
湧水の池で、農業用水に利用される。かつては地域の水の浴場で、夏は子ども達がわらわんだった。新しくした井上地区的河童像は、最初この付近にあったといい。



⑫ 太郎追神社の湧水

熊本市北区立福寺町 MAP C-3
太郎追氏の氏神社である。隣接する立福寺にある。神社境内の井戸から湧水が湧き出している。入口には湧水を引いた手水がある。今も農業用水などに利用されている。



⑬ 鼓ヶ滝

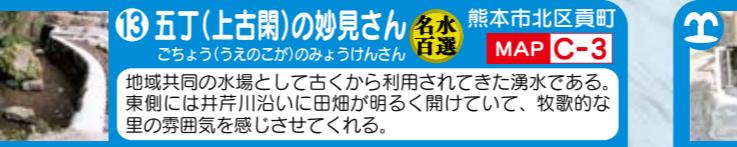
熊本市西区内町野出と松尾町平山の境、内川 MAP B-3
金峰山カルデラの渓谷にあり、景勝地「肥後耶馬溪」の見所の一つ。平安時代には、清少納言の父である肥後国司・清原元輔がこの滝を詠んだとされる。



⑭ 雲巖禅寺の湧水

MAP B-3

雲巖寺は平安時代から岩屋観音として知られ、本堂は武蔵が五輪塔を書きしたことで有名な古刹。古来より金峰山麓の湧水を寺の水とし、武蔵も欣んだといい。※詳載料:200円



⑮ 五丁(上古闘)の妙見さん

MAP C-3

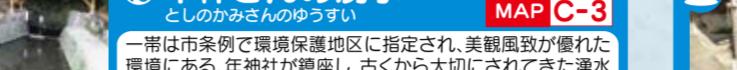
熊本市北区黄町 MAP C-3
地域共同の水場として古くから利用されてきた湧水である。東側には井戸川沿いに田畠が広く開けていて、牧歌的な雰囲気を感じさせてくれる。



⑯ 瑞巖寺跡

MAP C-3

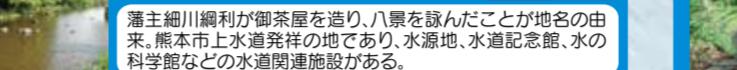
熊本市北区黄町 MAP C-3
瑞巖寺跡は約300年前の江戸時代の寺跡。奇岩と湧水により、風光明媚な地とされ、市指定の名勝・史跡である。瑞巖寺公園内には三十六の眼鏡橋が修設されている。



⑰ 15年神さんの湧水

MAP C-3

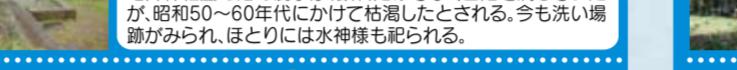
熊本市北区高平1丁目 MAP C-3
一帯は市条例で環境保護地区に指定され、美觀風致が優れた環境にある。元神社が湧度で、古くから大切にされてきた湧水で、現在も毎月清掃が行われている。



⑯ 八景谷

MAP C-3

熊本市北区八景谷1丁目 MAP C-3
薄手細川綱利が御茶屋を造り、八景を誂なごすこと地名の由来。熊本の水道発祥の地であり、水源地、水道記念館、水の科学館などの水の関連施設がある。



⑰ 竜井妙見池

MAP C-3

熊本市北区清水亀井町 MAP C-3
竜井寺の池の湧水が、飲料だけでなく畑を潤していたが、昭和50~60年代にかけて枯れたとされる。今も洗い場跡がみられ、ほとんどは水神様も記される。



⑯ 天水湖

MAP A-3

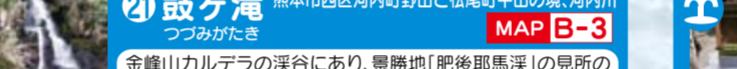
熊本市西区河内町白浜 MAP A-3
明治5年(1872)、明治天皇の九州巡幸の時に献上された水で、この水を「天長水」、湧水地を「天水湖」と呼ぶようになったといい。由緒ある湧水である。



⑯ 鐘井

MAP A-3

熊本市西区河内町船津 MAP A-3
樹齢600年以上というチヨウウの根元から湧水する。古名は「鐘井」とい。製鐵で煮る鐘(たから)の名を冠し、その昔製鐵に使われた歴史を物語る湧水である。



⑯ 上川床の湧水

MAP B-3

熊本市西区河内町岳 MAP B-3
県境沿いの崖地に、一見バームクーヘンのような地層が露出する。芳醇で甘い。金峰山カルデラ内が湧だった時の地層で、その上部から湧水する。



⑯ 延命水

MAP C-4

熊本市西区島崎5丁目 MAP C-4
共同の水場で石段があり、地域の人たちが野菜などを洗う姿を見ることができる。生活の結びつきが強い湧水である。



⑯ 前川の井戸端

MAP C-3

MAP C-3
古くから井戸や湧水などを井戸(イガワ)とい。井戸端(イガワ)の場所としても知られ、標柱と墓が建っている。



⑯ 小山田の井川

MAP C-4

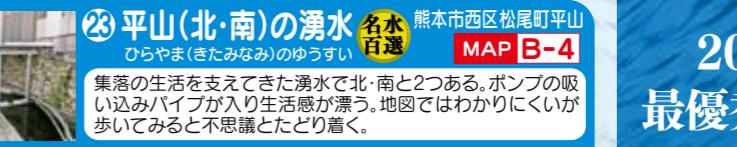
MAP C-4
地元では「井川さん」と呼んでおり、かつては地域の重要な水源であった。金峰山の登山者、本寺妙法院の参拝者たちはこの井戸で水を汲み、水槽に入れて登っているといい。



⑯ 長命水

MAP C-4

MAP C-4
茶の葉で重宝された名水とされ、明治の中ごろまでこの水を樽に入れて市街地へ売りに行く人もいた。長命の水と伝えられる歴史ある湧水である。



⑯ 平山(北・南)の湧水

MAP B-4

MAP B-4
集落の生活を支えてきた湧水で、北・南と2つある。ポンプの吸引込みが入りながら湧水が漏れる。地図はわかりにくいので歩いてみると不思議なところだ。



⑯ いんの川

MAP A-4

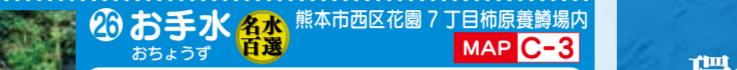
MAP A-4
集落にうっすらと守る湧水で、地域の方が手水をするのが見られる。観光とともに砂を撒くことによって湧水している。「いん」とは、陰・陰・引・大弓などと読む。



⑯ 天福寺

MAP C-3

MAP C-3
細川公の時代の祈願所として知られる天福寺、小森山の南麓の湧水が境内の手水場に流れている。境内に放し鶴の鳥が時折湧水をついばむ姿が愛らしい。



⑯ お手水

MAP C-3

MAP C-3
神天天皇の御手水・健體龍命が手水を使ったことが名前の由来。加藤清正や主細川綱利も使用した伝承をもつ湧水である。水量が豊富で養鶴場に利用されている。



⑯ 鳴岩の湧水

MAP C-3

MAP C-3
巨大な岩の中から水がれる音がするが名前の由来。岩の切れ目からパイプを通じて水が湧いて出る。岩の切れ目からパイプを通じて水が湧いて出る。岩の切れ目からパイプを通じて水が湧いて出る。



⑯ 前川の井戸

MAP C-3

MAP C-3
古くから井戸や湧水などを井戸(イガワ)とい。井戸端(イガワ)の場所としても知られ、標柱と墓が建っている。



